

社会人リカレント教育 enPiT-everi における熊本大学の取り組み

久我 守弘
熊本大学

kuga@cs.kumamoto-u.ac.jp

末吉 敏則
熊本大学

sueyoshi@cs.kumamoto-u.ac.jp

中武 繁寿
北九州市立大学

nakatake@kitakyu-u.ac.jp

要旨

本稿では、Society5.0 に対応した高度技術人材育成事業として実施する社会人リカレント教育 enPiT-everi の概要、および、連携大学として参加する本学の取り組みについて報告する。

1. はじめに

我が国が目指すべき未来社会の姿として、第 5 期科学技術基本計画において Society 5.0 が提唱された[1]。文部科学省は「Society 5.0 に対応した高度技術人材育成事業」enPiT[2]を公募し、社会人向けリカレント教育 enPiT-Pro のひとつとして北九州市立大学を代表校とする enPiT-everi “地域産業の競争力強化を図る人工知能とロボット技術を駆使した IoT 技術の社会実装を推進する実践的人材育成コースの開発・実施”が採択された[3]。本学は、その連携大学の 1 校として参画している。

2. enPiT-everi の概要

enPiT-everi では、製造業、自動車産業、介護業、農業畜産業および観光業の 5 つの分野に特化した教育テーマを設定し、IoT (Internet of Things)、AI (Artificial Intelligence)、ロボットなどの企業への導入を推進できる高度技術人材を育成することを目的としている。設定されたコースを受講し履修した者は、「IoT アーキテクト」または「IoT エンジニア」として修了認定を行う。

表 1: 熊本大学が担当する科目一覧

基盤科目	画像処理
	論理回路
	ハードウェア記述言語入門
応用科目	データマイニングの基礎
	深層学習
	FPGA による組込みシステム技術
ラボ	Raspberry Pi による組込みシステム技術
	製造業 IoT 実践ラボ演習

3. 熊本大学の取り組み

連携大学の 1 校である熊本大学は、表 1 に示す基盤科目、応用科目およびラボ演習を担当する。カリキュラムの中でもラボ演習は各分野において学んだ基盤科目、応用科目の知識を基にして、課題解決型 Project Based Learning を実施するもので、総仕上げとなる科目として位置付けられている。

担当するスマートファクトリ A コースは、製造業分野を想定したカリキュラムとなっており、IoT を実現する上で不可欠な組込みシステムに関する技術を習得することを目標としている。「製造業 IoT 実践ラボ演習」は、IoT を実現するための組込みシステムやサーバの仕組みについて理解を深めると共に、データ収集・分析システムの開発を例として演習を行う。組込みシステムとしてプロセッサ混載 FPGA や ARM プロセッサを搭載した SoC デバイスを使用し、その設計・操作法が学べるようになっている。

4. まとめ

以上、社会人リカレント教育である enPiT-everi の概要、および、熊本大学の取り組みについて述べた。enPiT-everi は 2018 年度後期のパイロット開講を経て、本年度より開講されており、Society5.0 に向けた高度 IoT 技術者の人材育成に貢献していく。

参考文献

- [1] 内閣府: 科学技術政策 Society 5.0, https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html.
- [2] 文部科学省: 成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成 (enPiT), http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/enpit/index.htm.
- [3] enPiT-everi: 地域産業の競争力強化を図る人工知能とロボット技術を駆使した IoT 技術の社会実装を推進する実践的人材育成コースの開発・実施, <https://www.enpit-everi.jp/>.